

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和3年 2月 1日

事業所名:スポーツとまなびのひろばSAIYO

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	子ども達が療育を行うには適切なスペースを確保している。	はい25どちらともいえない5いいえ0わからない	安全に気をつけて現状を維持する
	2 職員の適切な配置	正社員3名、非常勤6名で配置しているが、一部の紹介だけしかできていない。	・職員の方の紹介などがないのでわかりません はい26どちらともいえない0いいえ0わからない8	適正な配置を継続する。まなびっ子通信を利用して職員の紹介を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内はバリアフリーだが、施設を整骨院と共有しているので子ども達の特性に合わせた環境作りができていないところもある。	はい29どちらともいえない1いいえ0わからない4	子ども達にとって過ごしやすい環境を維持する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	今年度、24時間換気装置、調整次亜塩素酸水噴霧器を導入した。始業前に毎回掃除機、水ぶぎを行い、子どもが触るところを中心にアルコール消毒を行っている。	・家に帰ってくると足の裏が真っ黒になっている はい29どちらともいえない3いいえ0わからない2	室内の清掃、消毒は引き続き行う。運動を療育として行っているため、安全のため上靴を履くことを保護者や子ども達にお願いしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回業務の振り返りを社員で行い、問題解決を行っている。		引き続き行っていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では外部評価を行う予定はない。		必要に応じて実施していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	今年度はオンラインによる講習を適宜利用し、スタッフ間で共有している		引き続き、研修の機会を設けスタッフで共有していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	独自にアセスメントを行い、その結果と保護者にニーズに合わせて計画書を作成している		現状を維持していく。また、脳トレの時間にやったプリントにコメントをつけてお子さんの頑張りや保護者にもわかるようにしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動が主になるが、個別の課題についても計画書に記載している	①はい30どちらともいえない2いいえ0わからない2 ②はい31どちらともいえない2いいえ0わからない1	現状を維持していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の子どもに応じた目標と支援内容を記載している		現状を維持していく
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育前後にスタッフ間で情報の共有を行い、次回に向けての振り返りや課題を確認している	はい28どちらともいえない2いいえ0わからない4	現状を維持していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	社員で内容を検討し、決定した内容を非常勤のスタッフにも周知している	はい26どちらともいえない2いいえ0わからない6	個々の支援のポイントを検討し、現状を維持していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご家族から相談があった時は柔軟に対応している		ご家族からの相談にはできる限り対応していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	脳トレ、運動の療育は飽きないよう週ごとに内容を変更している。また、土曜日のイベントはコロナへの対応を考慮し、内容の検討を行っている		継続して行う。また、療育内容について研修会などで学び、新しいものが提供できるようにしていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎前にミーティングで内容、配置等の確認を行っている		引き続き行っていく
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	社員間でその日の振り返りを行い、非常勤スタッフにもその日気づいたことを報告してもらい情報を共有している		今後も継続していく
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	スタッフ間でその日の振り返りを行い、日々の活動の記録として全員分残している。また、その記録はスタッフ全員が見ることができるようにしている。		今後も継続していく
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	その都度確認し、計画の見直しを行っている		定期的に行えるよう現状を改善していく
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者が出席している		今後も継続していく
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な子がいない		今後、必要となった場合検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアの必要な子がいない		今後、必要となった場合検討していく
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	依頼がなかったため行っていない		必要な場合、柔軟に対応していく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供する機会がない		今後、事業所として情報提供が可能であることを保護者に周知し、対応していく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修は、随時誰でも参加できるよう案内を周知している。今年度はオンラインでの講習会の受講を多く行った。事業所連絡会は管理者・児童発達支援管理責任者が出席。		今後も研修等の周知を行い、スタッフが参加できるようにしていく
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	土曜日のイベント時に外部とのかかわりはあるが、それ以外は特に実施していない	はい5どちらともいえない2いい6わからない21	放課後に友達と交流がある子が多いので、積極的にには考えていない。機会があれば検討したい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの影響があり、地域のイベントの実施がなかった。		地域とのつながりは今後も検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行っている	はい31どちらともいえない1いい0わからない2	引き続き行っていく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談等を行い説明している	はい29どちらともいえない2いい3わからない	引き続き行っていく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していないが、まなびっ子通信のコラム欄をつかって情報の提供は行っている	はい12どちらともいえない5いい7わからない10	ペアレント・プログラムの実施を検討している
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時、連絡帳などで利用時の様子などをお伝えしている	はい32どちらともいえない1いい1わからない0	今後も継続していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談に対し、連絡帳、電話、面談等で対応している	・通い出してそんなに日が経ってないのでもまだわかりません。 ・保護者に対しての面談は1年に1回もしていない はい19どちらともいえない7いい6わからない2	文書での案内を出し、保護者が相談しやすい環境づくりをしていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は行っていない。コロナ禍のため療育参観を実施できず、保護者の交流の場を作れなかった。	はい3どちらともいえない6いい13わからない12	今年度、実施できなかった参観などの機会を持ち、保護者が交流できる場の提供を行う。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	すぐに対応しているが、時間がかかったケースもあった	はい18どちらともいえない3いい2わからない11	苦情に対しては迅速に対応していく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	電話、FAX、メール、連絡帳などの連絡手段の他に子どもに応じて筆談や情報機器を使用して意思伝達などを行っている	はい31どちらともいえない2いい1わからない0	継続して要望があれば個々にも対応していく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回まなびっ子通信の発行を行っている。今年度はブログの更新ができていなかった	はい29どちらともいえない2いい0わからない3	継続して通信の発行を行う。また、ブログなどの情報の発信を途切れないよう定期的に行っていく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を社外に持ち出さないようにし、通信に写真を載せる場合個人が特定できないようにしている。契約時に個人情報使用同意書を保護者にもらっている。	はい28どちらともいえない0いい0わからない6	今後も個人情報の取り扱いに十分配慮していく。
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に説明を行っているがマニュアルの周知には至っていない	はい22どちらともいえない3いい1わからない6 未記入1	文書のマニュアルの配布を行う	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を行っているが、保護者に周知できていない	はい13どちらともいえないいい1わからない19	特定の日だけに終わらず、1週間を通して避難訓練を行い、保護者にも報告していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部の研修に参加したり、事業所内での月1回の勉強会でも学ぶ機会を確保している		今後も研修を行っていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行っていない		今後も身体拘束をしない
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書が必要なお子さんはいませんが、個々のアレルギーについては保護者から情報をいただき、スタッフ全員に周知している		保護者からの情報提供を受け、必要な時には医師の意見書の提出をお願いする。スタッフ全員で共有し、安心して過ごせるようにしていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	月1回社員で経緯から情報を共有し、対応等の振り返りを行っている。また、非常勤スタッフにも周知している。		今後も継続し、非常勤スタッフにも共有していく。